



2018.2 和歌山市立貴志中学校

寒い毎日が続いています。
1月の中旬からインフルエンザが学校内でも流行していきます。
これからも油断はできません。手洗い・うがい・部屋の換気を行いましょう。

「二月は逃げて走る」ということわざがあります。
正月が終わったばかりだと思っていると、もう三月が間近で
二月は格別に過ぎるのが早く感じられるという意味です。
学年のまとめの時期です。1日1日を大切に過ごしましょう。



かぜかな？ 花粉症かな？	
かぜ	花粉症
それほど続けては出ない	1ヶ月
ねばり気があり、色もついている	透明
ほとんどない	目のかゆみ
37度以上の発熱	熱
とくになし	直伝：性 家族にアレルギー体質の人がある
短期間（1週間程度）で治る	春前後の期間 花粉が飛んでいる時期は症状が出る
変化はない	人間 症状に変化がある

自分でできる花粉症対策を試そう!!

- *マスクを付ける(花粉を吸い込み量が減る)
- *帽子を被る(顔や髪をガードする)
- *うがいをする(のどに溜れた花粉を洗い流す)
- *上着(花粉のつきにくい表面が“いい”/レーヨン素材にチエシジ)

～からだを温め、スイッチON!～

平熱が35度台といった「低体温」の人が増えています。

貴志中学校でも、体温を測りにくる人の中にも時々、35度台の人がいます。低体温でない人も、寒い冬は体温が低くなりがち。

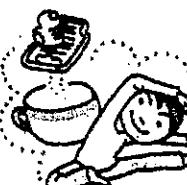
〈低体温だと〉

頭痛やだるさなど、「なんか調子悪いな…」の原因に。
免疫力が落ちて、病気にかかりやすく、治りにくくなることも。また、血行が悪くなって、脳に栄養が十分届かず、免疫力にも影響が…。



〈体温を上げるために〉

・ショウガ入りのスープなど、からだを温めるものを。→特に朝ごはんに!



・ストレッチ→血行がよくなります。

・着物は厳禁！→おしゃれよりも温かさ重視です。

体温は「ぐっすり」眠るためにも大切です!!

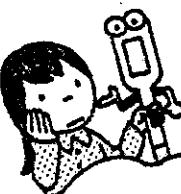
赤ちゃんが眠くなると、手足がホカホカしてくるのを知っていますか？

人の体温は一日中同じではありません。体内時計に合わせて、昼間活動しているときには高く、夜は自然と低くなります。眠りに入る前に、手足の温度が上がるのは、熱を外に逃がして、からだの中の温度を下げるため。



体温が下がるにつれて眼くなり、深い睡眠が訪れます。

曾 眠りが浅い人は体温調整の見直しを。



・電気毛布を朝までつけていませんか？

・部屋の暖房は強すぎませんか？

・寝る直前に熱いお風呂に入っていますか？